

平成30年度 函館市病院事業の経営実績

令和元年(2019年)6月
函館市病院局

目 次

I 平成30年度の経営状況

- 1 患者数等および収支状況 1～4 ページ
- 2 主な経営指標等 5～6 ページ

II 過去5か年の経営実績

- 1 医業収益（函館病院） 7～8 ページ
- 2 医業収益（恵山病院） 9 ページ
- 3 医業収益（南茅部病院） 10 ページ
- 4 函館病院の医業収益に対する材料費の割合 11 ページ

III （新）改革プラン収支計画との比較

- 1 収支計画と実績の比較 12 ページ
- 2 函館病院の経営効率化に向けた取り組みの実績 13～14 ページ

I 平成30年度の経営状況

1 患者数等および収支状況

① 函館病院

入院患者数は、前年度に比べ17.9人増の457.3人、年間新規入院患者数（入院件数）は370人増の12,171人となり、年間平均在院日数は0.1日伸び12.6日となっています。

外来患者数は、入院中の患者さんに対するリハビリテーションを積極的に行ったことから患者数が増加し、前年度に比べ42.8人増の1,189.9人となっています。

区 分	H29決算 A	H30決算見込B	差引B-A
入院患者数	439.4 人/日	457.3 人/日	17.9 人/日
年間新規入院患者数	11,801 人	12,171 人	370 人
年間平均在院日数	12.5 日	12.6 日	0.1 日
外来患者数	1,147.1 人/日	1,189.9 人/日	42.8 人/日
病床利用率（運用病床）	91.9 % (3月末時点一般476床)	94.5 % (3月末時点一般486床)	2.6 %

※函館病院許可病床数 一般598床（一般病床582，結核病床10，感染病床6），精神50床

平成30年度の決算見込は、7,829万円の黒字となりました（当年度資金過不足額 a）。平成29年度と比べ、患者数の増等により入院収益が増加したほか、給与費、材料費の減等により、会計基準改定の特許要素を除いた実質収支の比較では10億6,644万6千円のプラス、収支計画見直し後の改革プランに対しては2億5,429万円のプラスとなっています。

(単位：千円)

科目		H29決算A	H30決算見込B	差引B-A	H30改革プランC	差引B-C
経常収益	入院収益	11,794,611	12,327,373	532,762	12,426,000	△ 98,627
	外来収益	4,151,819	4,082,551	△ 69,268	4,069,000	13,551
	その他	223,048	249,266	26,218	316,000	△ 66,734
	一般会計繰入金	324,109	335,140	11,031	336,000	△ 860
	計	16,493,587	16,994,330	500,743	17,147,000	△ 152,670
	医業外・学院収益 (うち一般会計繰入金)	1,827,152 (861,819)	1,815,791 (861,235)	△ 11,361 (△ 584)	1,839,000 (862,000)	△ 23,209 (△ 765)
計	18,320,739	18,810,121	489,382	18,986,000	△ 175,879	
経常費用	給与費	7,954,086	7,430,536	△ 523,550	7,607,000	△ 176,464
	材料費	5,250,474	5,084,240	△ 166,234	5,274,000	△ 189,760
	経費	3,542,786	3,567,028	24,242	3,538,000	29,028
	その他	804,005	752,067	△ 51,938	748,000	4,067
	計	17,551,351	16,833,871	△ 717,480	17,167,000	△ 333,129
医業外・学院・予備費	1,223,703	1,161,697	△ 62,006	1,197,000	△ 35,303	
計	18,775,054	17,995,568	△ 779,486	18,364,000	△ 368,432	
経常損益	△ 454,315	814,553	1,268,868	622,000	192,553	
特別利益	805,690	800,694	△ 4,996	778,000	22,694	
特別損失	6,201	59	△ 6,142	10,000	△ 9,941	
純損益	345,174	1,615,188	1,270,014	1,390,000	225,188	
損益勘定留保資金等	△ 964,606	△ 504,702	459,904	△ 514,000	9,298	
小計	△ 619,432	1,110,486	1,729,918	876,000	234,486	
資本的収入 (うち一般会計繰入金)	1,223,575 (1,201,334)	1,215,558 (1,207,408)	△ 8,017 (6,074)	1,211,000 (1,207,000)	4,558 (408)	
資本的支出	2,274,437	2,247,754	△ 26,683	2,263,000	△ 15,246	
資本的収支差引	△ 1,050,862	△ 1,032,196	18,666	△ 1,052,000	19,804	
当年度資金過不足額a	△ 1,670,294	78,290	1,748,584	△ 176,000	254,290	
一般会計繰入金 合計	2,387,262	2,403,783	16,521	2,405,000	△ 1,217	
会計基準改定分 b	△ 682,138		682,138		0	
実質収支 a-b	△ 988,156	78,290	1,066,446	△ 176,000	254,290	

② 恵山病院

入院患者数は、平成30年4月から40床運用としたこと等により、前年度に比べ1.5人減の34.8人となっています。

外来患者数は、地域の人口減少の影響等により、前年度に比べ2.6人減の53.8人となっています。
病床利用率は、前年度に比べ26.7%上回り87.1%となっています。

区 分	H29決算 A	H30決算見込B	差引B-A
入院患者数	36.3 人/日	34.8 人/日	△ 1.5 人/日
外来患者数	56.4 人/日	53.8 人/日	△ 2.6 人/日
病床利用率（運用病床）	60.4 % (3月末時点60床)	87.1 % (3月末時点40床)	26.7 %

※恵山病院許可病床数 療養60床

平成30年度の決算見込は、229万円の黒字となりました（当年度資金過不足額 a）。平成29年度と比べ、外来患者数の減等により外来収益が減少しましたが、退職手当の減等により、会計基準改定などの特殊要素を除いた実質収支の比較では4,505万5千円のプラス、収支計画見直し後の改革プランに対しては2,215万3千円のプラスとなっています。

(単位：千円)

科目			H29決算A	H30決算見込B	差引B-A	H30改革プランC	差引B-C
経常収益	医業収益	入院収益	281,009	283,736	2,727	272,000	11,736
		外来収益	110,410	103,605	△ 6,805	104,000	△ 395
		その他	14,628	13,269	△ 1,359	13,000	269
		一般会計繰入金	37,991	37,991	0	38,000	△ 9
	計	444,038	438,601	△ 5,437	427,000	11,601	
経常費用	医業外収益 (うち一般会計繰入金)		246,979 (225,797)	206,579 (184,292)	△ 40,400 (△ 41,505)	207,000 (184,000)	△ 421 (292)
	計		691,017	645,180	△ 45,837	634,000	11,180
	医業費用	給与費 材料費 経費 その他	計	404,550	400,945	△ 3,605	385,000
材料費			54,270	54,498	228	55,000	△ 502
経費			150,596	153,354	2,758	177,000	△ 23,646
その他		60,275	60,170	△ 105	61,000	△ 830	
計	669,691	668,967	△ 724	678,000	△ 9,033		
医業外費用		24,156	23,647	△ 509	24,000	△ 353	
計		693,847	692,614	△ 1,233	702,000	△ 9,386	
経常損益			△ 2,830	△ 47,434	△ 44,604	△ 68,000	20,566
特別利益			1,905	1,298	△ 607	1,000	298
特別損失			127	2,635	2,508	1,000	1,635
純損益			△ 1,052	△ 48,771	△ 47,719	△ 68,000	19,229
損益勘定留保資金等			△ 11,746	68,250	79,996	66,000	2,250
小計			△ 12,798	19,479	32,277	△ 2,000	21,479
資本的収入 (うち一般会計繰入金)			21,153 (21,153)	22,590 (21,590)	1,437 (437)	22,000 (22,000)	590 (△ 410)
資本的支出			37,464	39,779	2,315	40,000	△ 221
資本的収支差引			△ 16,311	△ 17,189	△ 878	△ 18,000	811
当年度資金過不足額a			△ 29,109	2,290	31,399	△ 20,000	22,290
一般会計繰入金 合計			284,941	243,873	△ 41,068	244,000	△ 127
うち特殊な繰入金等 b			92,780	52,137	△ 40,643	52,000	137
会計基準改定分 c			△ 26,987		26,987		0
実質収支 a-b-c			△ 94,902	△ 49,847	45,055	△ 72,000	22,153

③ 南茅部病院

入院患者数は、一般では前年度に比べ0.4人減の17.9人となっています。
 また、療養では前年度に比べ2.0人上回り18.2人となっています。
 外来患者数は、地域の人口減少の影響等により、前年度に比べ0.9人減の83.4人となっています。
 病床利用率は、前年度に比べ2.7%上回り61.3%となっています。

区 分	H29決算 A	H30決算見込B	差引B-A
入院患者数（一般）	18.3 人/日	17.9 人/日	△ 0.4 人/日
〃（療養）	16.2 人/日	18.2 人/日	2.0 人/日
外来患者数	84.3 人/日	83.4 人/日	△ 0.9 人/日
病床利用率（運用病床）	58.6 % (3月末時点59床)	61.3 % (3月末時点59床)	2.7 %

※南茅部病院許可病床数 一般37床，療養22床

平成30年度の決算見込は、582万8千円の赤字となりました（当年度資金過不足額 a）。平成29年度決算と比べ、外来の診療単価の増等により外来収益が増加したほか、給与費の減少もありましたが、材料費、経費の増等もあり、会計基準改定などの特殊要素を除いた実質収支の比較では454万4千円のプラス、収支計画見直し後の改革プランに対しては2,113万6千円のプラスとなっています。

(単位：千円)

科目		H29決算A	H30決算見込B	差引B-A	H30改革プランC	差引B-C
経常収益	入院収益	217,033	220,058	3,025	225,000	△ 4,942
	外来収益	104,417	116,390	11,973	115,000	1,390
	その他	9,197	8,261	△ 936	10,000	△ 1,739
	一般会計繰入金	37,991	37,991	0	38,000	△ 9
	計	368,638	382,700	14,062	388,000	△ 5,300
経常費用	医業外収益	227,497	201,827	△ 25,670	202,000	△ 173
	(うち一般会計繰入金)	(225,189)	(199,414)	(△ 25,775)	(199,000)	(414)
	計	596,135	584,527	△ 11,608	590,000	△ 5,473
経常費用	給与費	281,967	258,024	△ 23,943	263,000	△ 4,976
	材料費	64,604	71,808	7,204	78,000	△ 6,192
	経費	196,851	203,017	6,166	214,000	△ 10,983
	その他	2,544	3,593	1,049	4,000	△ 407
	計	545,966	536,442	△ 9,524	559,000	△ 22,558
	医業外費用	15,636	16,649	1,013	17,000	△ 351
	計	561,602	553,091	△ 8,511	576,000	△ 22,909
経常損益		34,533	31,436	△ 3,097	14,000	17,436
特別利益		9,377	10,965	1,588	9,000	1,965
特別損失		1		△ 1	1,000	△ 1,000
純損益		43,909	42,401	△ 1,508	22,000	20,401
損益勘定留保資金等		△ 43,154	△ 39,122	4,032	△ 39,000	△ 122
小計		755	3,279	2,524	△ 17,000	20,279
資本的収入		9,433	9,745	312	10,000	△ 255
(うち一般会計繰入金)		(9,433)	(9,745)	(312)	(10,000)	(△ 255)
資本的支出		19,335	18,852	△ 483	20,000	△ 1,148
資本的収支差引		△ 9,902	△ 9,107	795	△ 10,000	893
当年度資金過不足額a		△ 9,147	△ 5,828	3,319	△ 27,000	21,172
一般会計繰入金 合計		272,613	247,150	△ 25,463	247,000	150
うち特殊な繰入金等 b		100,826	81,036	△ 19,790	81,000	36
会計基準改定分 c		△ 18,565		18,565		0
実質収支 a-b-c		△ 91,408	△ 86,864	4,544	△ 108,000	21,136

④ 3病院合計

3病院の合計では、7,475万2千円の黒字となりました（当年度資金過不足額a）。平成29年度と比べ、函館病院の入院患者数の増等により入院収益が増加したほか、給与費、材料費の減等により、会計基準改定などの特殊要素を除いた実質収支の比較では11億1,604万5千円のプラス、収支計画見直し後の改革プランに対しては2億9,757万9千円のプラスとなっています。

なお、参考として、過去5か年の特殊要素を除いた実質収支の推移を記載しています。

(単位：千円)

科目		H29決算A	H30決算見込B	差引B-A	H30改革プランC	差引B-C
経常収益	入院収益	12,292,653	12,831,167	538,514	12,923,000	△ 91,833
	外来収益	4,366,646	4,302,546	△ 64,100	4,288,000	14,546
	その他	246,873	270,796	23,923	339,000	△ 68,204
	一般会計繰入金	400,091	411,122	11,031	412,000	△ 878
	計	17,306,263	17,815,631	509,368	17,962,000	△ 146,369
	医業外収益	2,301,628	2,224,197	△ 77,431	2,248,000	△ 23,803
	(うち一般会計繰入金)	(1,312,805)	(1,244,941)	(△ 67,864)	(1,245,000)	(△ 59)
	計	19,607,891	20,039,828	431,937	20,210,000	△ 170,172
経常費用	給与費	8,640,603	8,089,505	△ 551,098	8,255,000	△ 165,495
	材料費	5,369,348	5,210,546	△ 158,802	5,407,000	△ 196,454
	経費	3,890,233	3,923,399	33,166	3,929,000	△ 5,601
	その他	866,824	815,830	△ 50,994	813,000	2,830
	計	18,767,008	18,039,280	△ 727,728	18,404,000	△ 364,720
	医業外・学院・予備費	1,263,495	1,201,993	△ 61,502	1,238,000	△ 36,007
	計	20,030,503	19,241,273	△ 789,230	19,642,000	△ 400,727
	経常損益	△ 422,612	798,555	1,221,167	568,000	230,555
	特別利益	816,972	812,957	△ 4,015	788,000	24,957
	特別損失	6,329	2,694	△ 3,635	12,000	△ 9,306
	純損益	388,031	1,608,818	1,220,787	1,344,000	264,818
	損益勘定留保資金等	△ 1,019,506	△ 475,574	543,932	△ 487,000	11,426
	小計	△ 631,475	1,133,244	1,764,719	857,000	276,244
	資本的収入	1,254,161	1,247,893	△ 6,268	1,243,000	4,893
	(うち一般会計繰入金)	(1,231,920)	(1,238,743)	(6,823)	(1,239,000)	(△ 257)
	資本的支出	2,331,236	2,306,385	△ 24,851	2,323,000	△ 16,615
	資本的収支差引	△ 1,077,075	△ 1,058,492	18,583	△ 1,080,000	21,508
	当年度資金過不足額a	△ 1,708,550	74,752	1,783,302	△ 223,000	297,752
	一般会計繰入金 合計	2,944,816	2,894,806	△ 50,010	2,896,000	△ 1,194
	うち特殊な繰入金等 b	193,606	133,173	△ 60,433	133,000	173
	会計基準改定分 c	△ 727,690	0	727,690	0	0
	実質収支 a-b-c	△ 1,174,466	△ 58,421	1,116,045	△ 356,000	297,579

実質収支の推移

(単位：千円)

区分	H26	H27	H28	H29	H30
函館病院	△ 832,589	△ 902,526	△ 998,890	△ 988,156	78,290
恵山病院	△ 13,357	△ 72,874	△ 13,598	△ 94,902	△ 49,847
南茅部病院	△ 105,740	△ 113,005	△ 56,636	△ 91,408	△ 86,864
3病院合計	△ 951,686	△ 1,088,405	△ 1,069,124	△ 1,174,466	△ 58,421

2 主な経営指標等

① 経営指標に係る数値目標と実績

(単位：%)

区分	函館病院		恵山病院		南茅部病院	
	経常収支比率	医業収支比率	経常収支比率	医業収支比率	経常収支比率	医業収支比率
H28	94.0	87.8	94.2	70.3	103.2	70.9
H29実績	97.6	94.0	99.6	66.3	106.1	67.5
H30目標 (改革プラン)	100%以上	95%以上	100%以上	73%以上	100%以上	73%以上
H30実績	104.5	101.0	93.2	65.6	105.7	71.3

(参考) 同規模病院の全国平均値 (平成28年度)

区分	500床以上の病院		不採算地区病院で 50床以上100床未満	
	経常収支比率	医業収支比率	経常収支比率	医業収支比率
民間病院	102.0	101.7	—	—
公的病院 (自治体以外)	99.2	99.2	—	—
公立病院 (黒字)	102.8	98.5	104.3	81.6
公立病院 (上位1/2)	102.7	97.9	103.9	80.4
公立病院 (全体)	99.8	95.1	98.5	77.1

※ 各指標の算式 (消費税抜き)

1. 経常収支比率

$$\frac{\text{経常収益 (医業収益 + 医業外収益)}}{\text{経常費用 (医業費用 + 医業外費用)}} \times 100$$

2. 医業収支比率

$$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$$

② 医療機能等指標に係る数値目標と実績

□ 函館病院

項目	目標値	H29実績	H30実績
院内がん登録件数（※）	1,500件以上	1,311件	（見込）1,019件
救急車受入件数（へり含む）	5,000件以上	5,700件	5,688件
手術件数	3,000件以上	2,954件	2,968件
分娩件数	200件以上	105件	144件
他病院への医師等派遣	年間延べ200日以上	195日	279日

※院内がん登録件数については1月～12月の暦年で表示。H30は集計中のため見込数値。

□ 恵山病院

項目	目標値	H29実績	H30実績
入院患者のうち、医療区分2,3（※）の割合	80%以上を維持	81.6%	85.2%
救急患者受入人数	300人以上を維持	299人	272人
入院透析患者数	11人	9.7人	9.9人
外来透析患者数	5人	10.9人	9.1人
地域ケア会議の開催	年12回開催を維持	年12回開催	年12回開催

※人工呼吸器や人工透析等を必要とする、慢性期の中でも医療の必要度が高い患者

□ 南茅部病院

項目	目標値	H29実績	H30実績
救急患者受入人数	300人以上を維持	291人	328人
地域ケア会議の開催	年12回開催	年12回開催	年12回開催
地域との懇談会等の開催	年8回開催	年1回開催	年1回開催

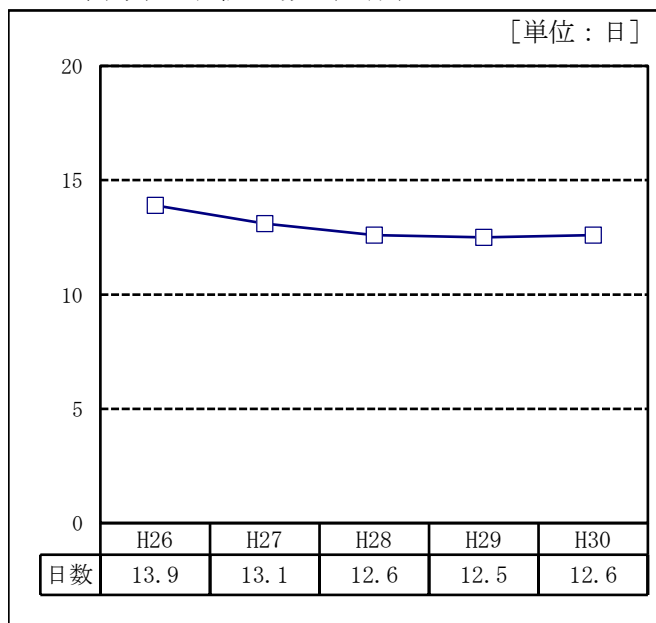
Ⅱ 過去5か年の経営実績

1 医業収益（函館病院）

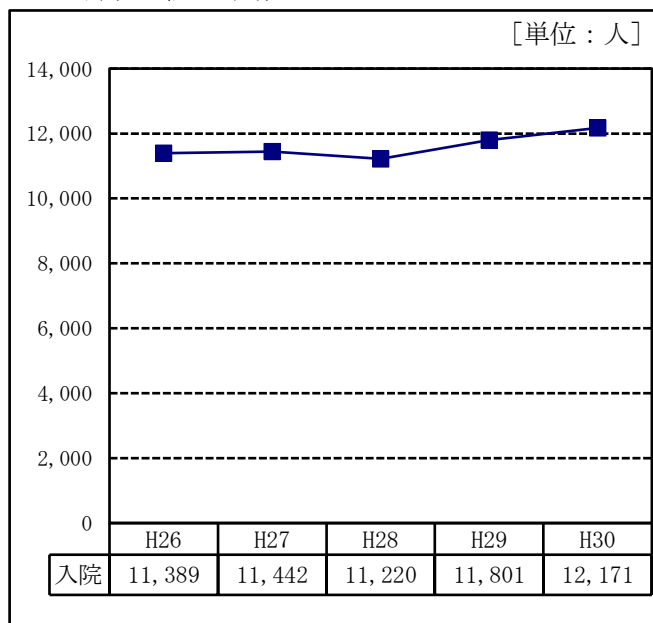
30年度の一般の年間平均在院日数は12.6日で、29年度の12.5日に対し0.1日延び、また、新規入院患者数は12,171人で、29年度の11,801人に対し370人の増となったことから、1日平均の入院患者数は457.3人となり、29年度の439.4人に対し17.9人の増となっています。

患者1人あたり入院診療単価は73,873.1円で、29年度の73,549.3円に対し323.8円の増となっています。

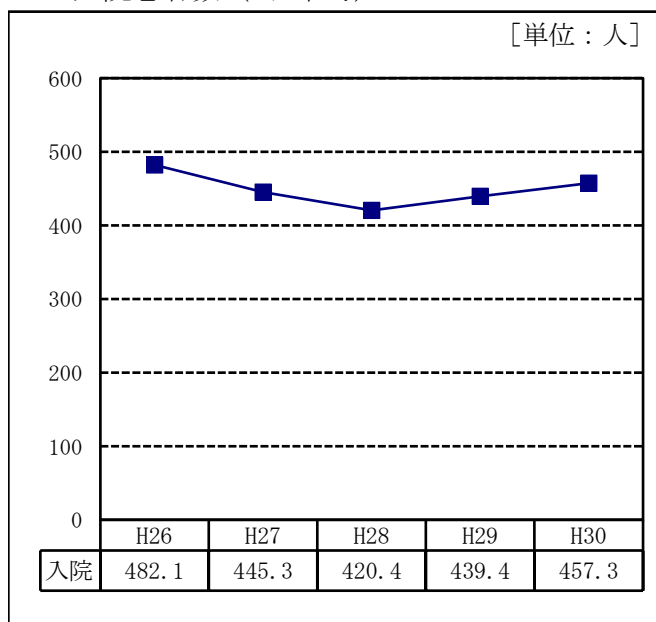
□ 年間平均在院日数（一般）



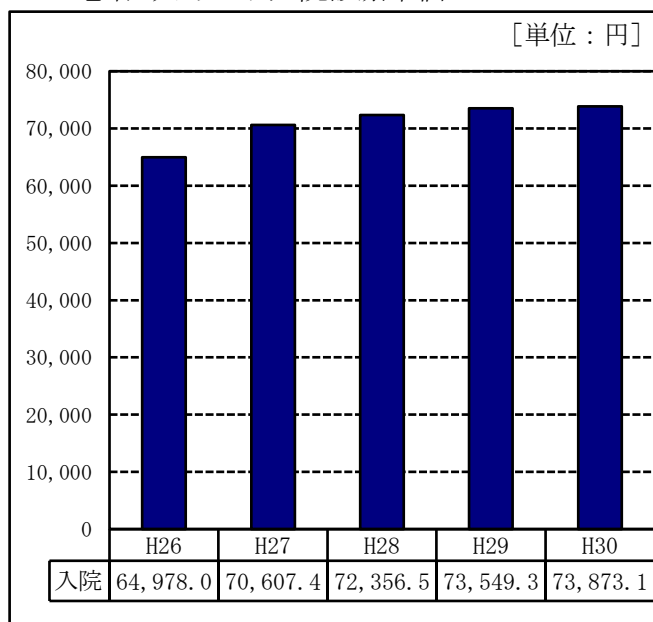
□ 新規入院患者数



□ 入院患者数（1日平均）



□ 患者1人あたり入院診療単価

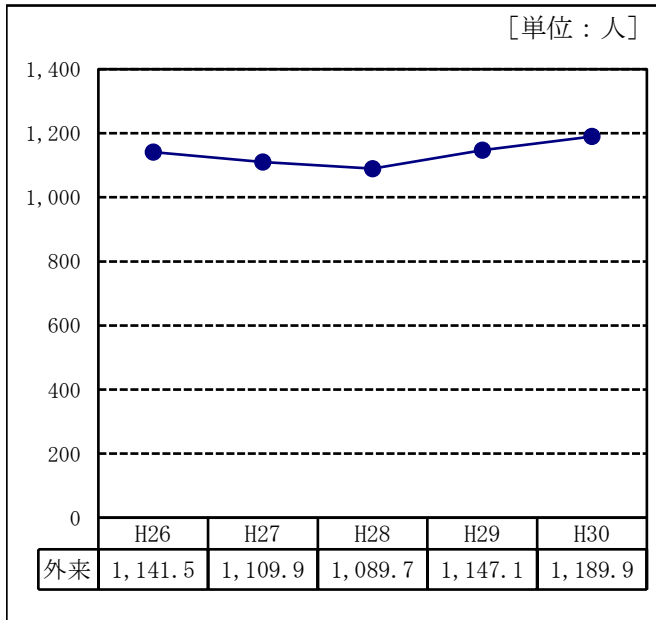


30年度の1日平均の外来患者数は、一般は1,189.9人で、29年度の1,147.1人に対し42.8人の増となっています。

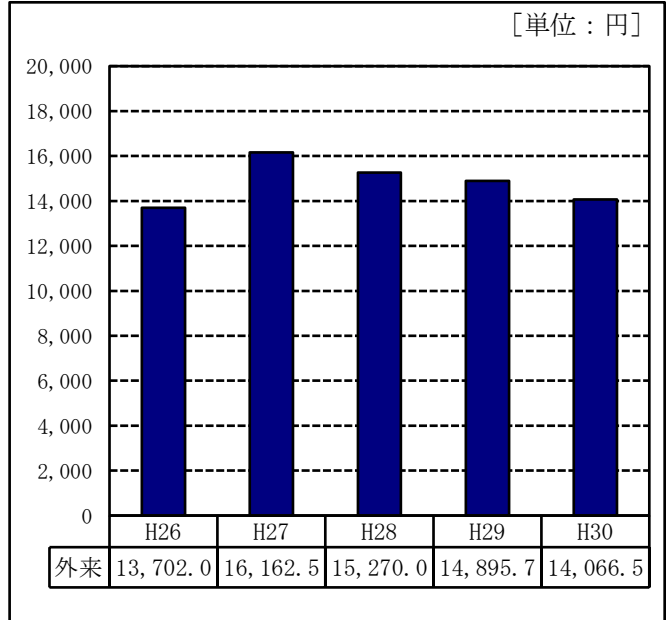
30年度の患者1人あたり外来診療単価は、14,066.5円で、29年度の14,895.7円に対し829.2円の減となっていますが、入院中の患者さんに外来でリハビリを行っている件数が増えていることなどによるものです。

また、救急患者を除いた患者紹介率は48.1%で、29年度の42.6%に対し5.5%の増、逆紹介率は100.4%で、29年度の74.8%に対し25.6%の増となっています。

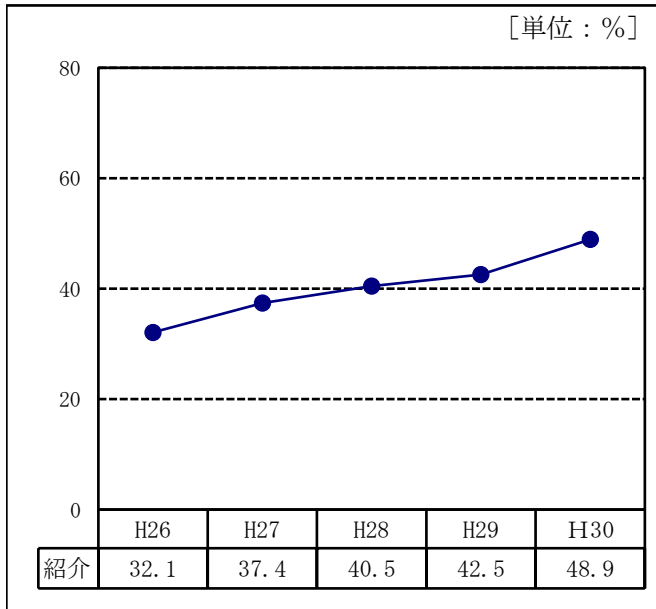
□ 外来患者数（1日平均）



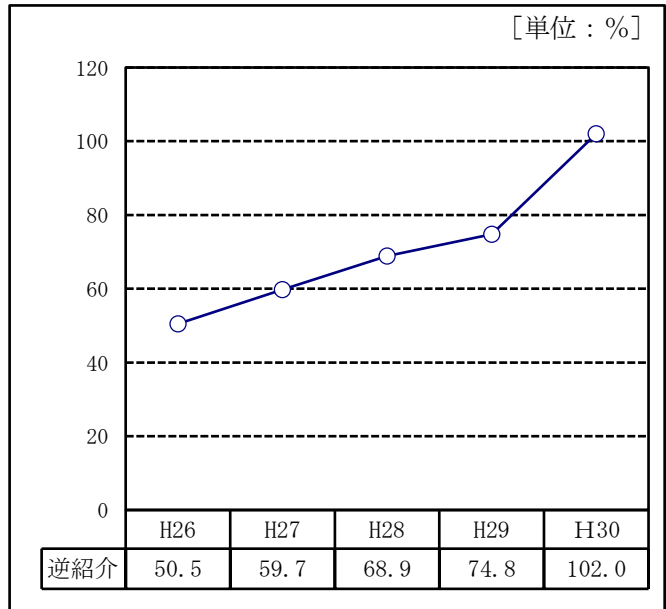
□ 患者1人あたり外来診療単価



□ 患者紹介率（救急患者を除く）



□ 患者逆紹介率

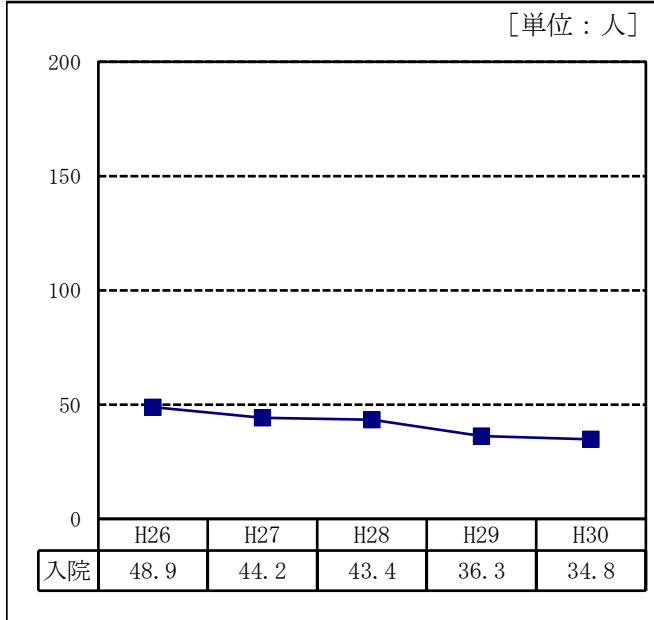


2 医業収益（恵山病院）

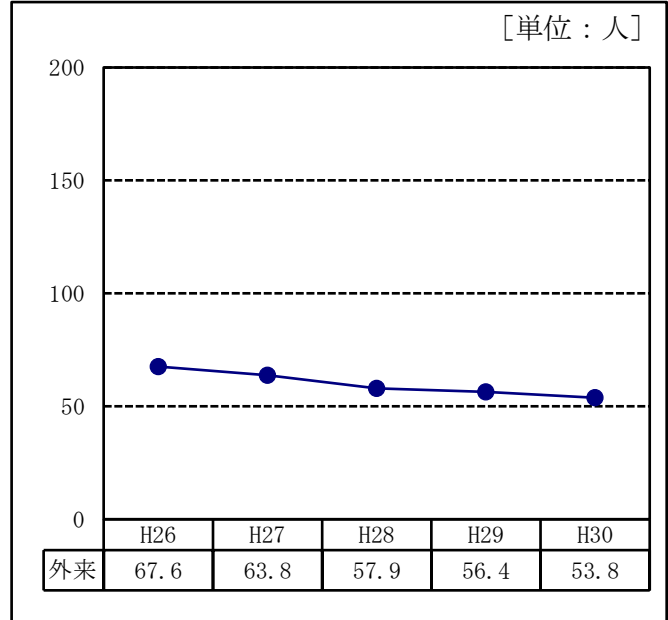
30年度の1日平均の入院患者数は34.8人で、29年度の36.3人に対し1.5人の減、外来患者数は53.8人で、29年度の56.4人に対し2.6人の減となっています。

30年度の患者1人あたり入院診療単価は22,313.3円で、29年度の21,227.5円に対し1,085.8円の増、外来診療単価は7,894.9円で、29年度の8,060.7円に対し165.8円の減となっています。

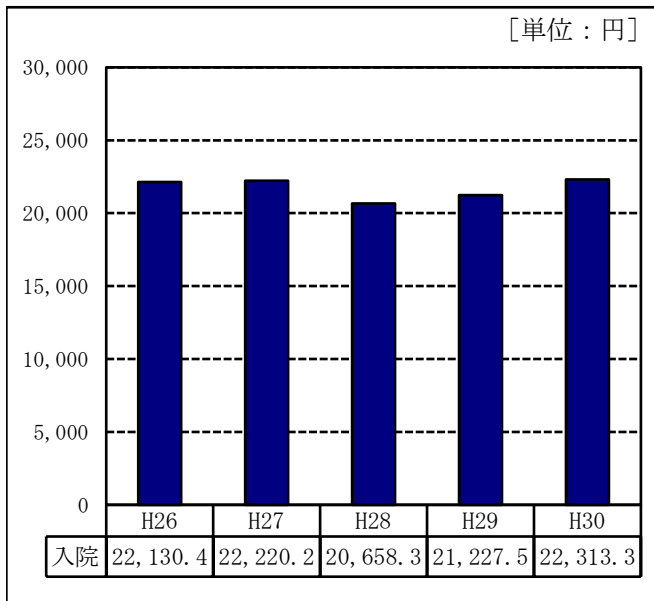
□ 入院患者数（1日平均）



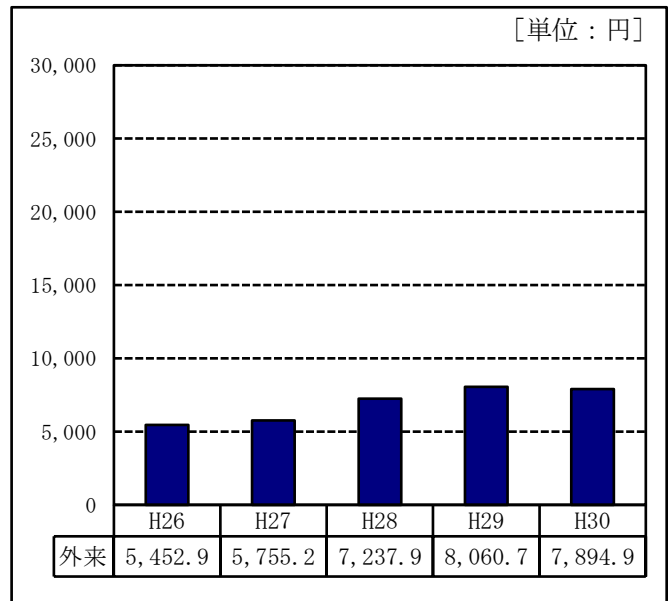
□ 外来患者数（1日平均）



□ 患者1人あたり入院診療単価



□ 患者1人あたり外来診療単価



3 医業収益（南茅部病院）

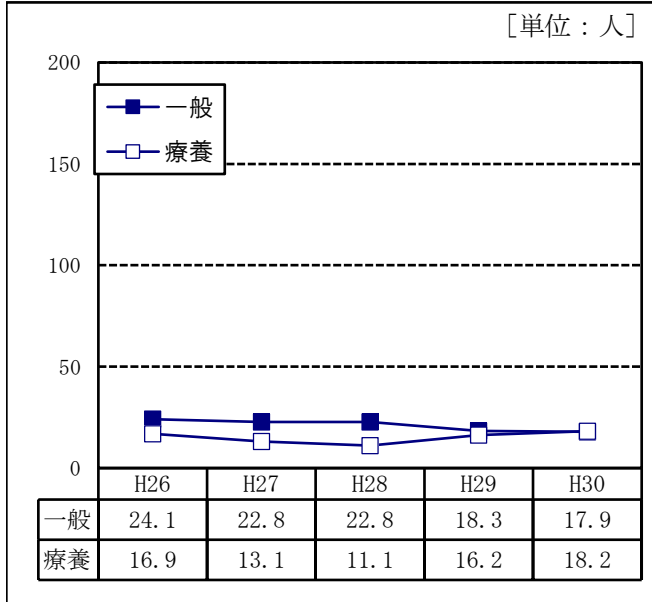
30年度の1日平均の入院患者数は、一般は17.9人で、29年度の18.3人に対し0.4人の減、療養は18.2人で、29年度の16.2人に対し2人の増となっています。

また、外来患者数は83.4人で、29年度の84.3人に対し0.9人の減となっています。

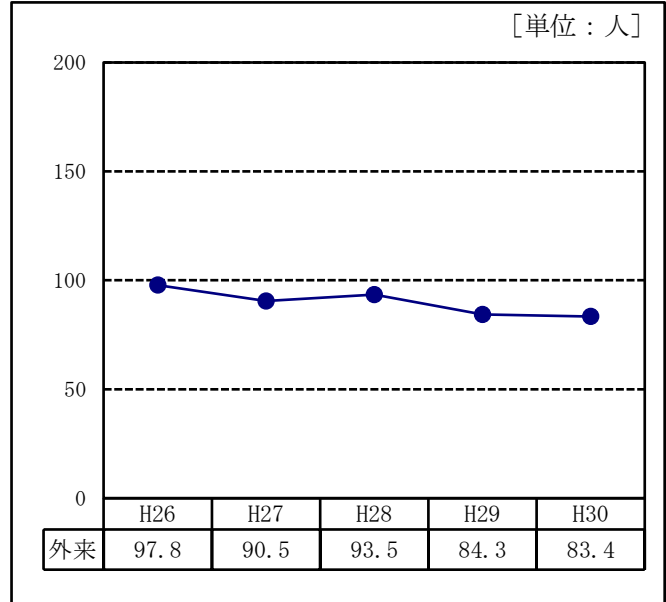
30年度の患者1人あたり入院診療単価は、一般は25,580.8円で、29年度の25,478円に対し102.8円の増、療養は7,893円で、29年度の7,883.4円に対し9.6円の増となっています。

また、外来診療単価は5,717.2円で、29年度の5,095.2円に対し622円の増となっています。

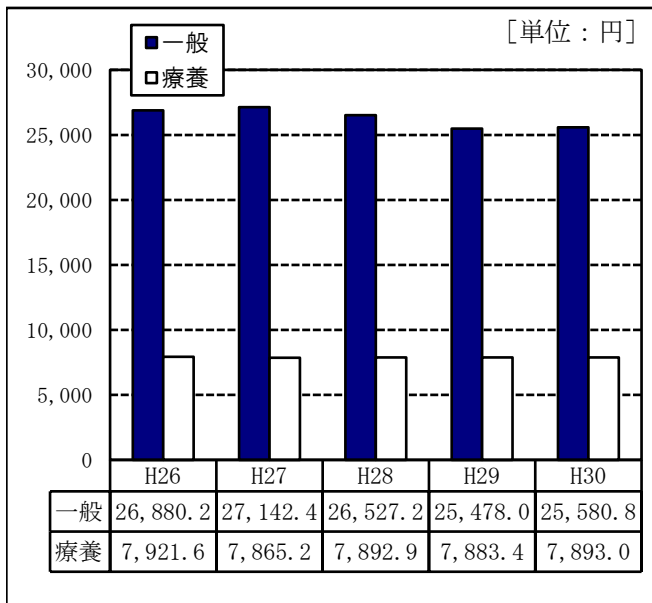
□ 入院患者数（1日平均）



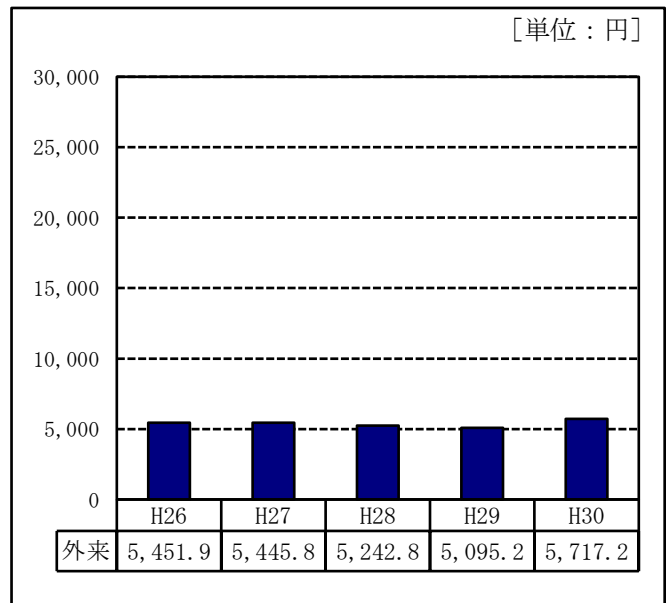
□ 外来患者数（1日平均）



□ 患者1人あたり入院診療単価



□ 患者1人あたり外来診療単価



4 函館病院の医業収益に対する材料費の割合

函館病院のジェネリック医薬品の採用率は、30年度 品目数ベースで83.7%となっており、29年度の82.1%に対し1.6%増となっています。

入院・外来収益の合計は、入院患者数の増等により前年度に比べ4億6,578万9千円増加していますが、材料費は安価な同等品への切り替えや、共同購入への参加等により、前年度に比べ1億8,005万5千円減少しました。

その結果、材料費が医業収益に占める割合は29年度に対して2.09%の減の32.72%となっています。

【ジェネリック医薬品の採用状況】

※品目数ベース

ジェネリック医薬品採用数 ÷ 使用薬品の内ジェネリック医薬品がある薬品数 × 100

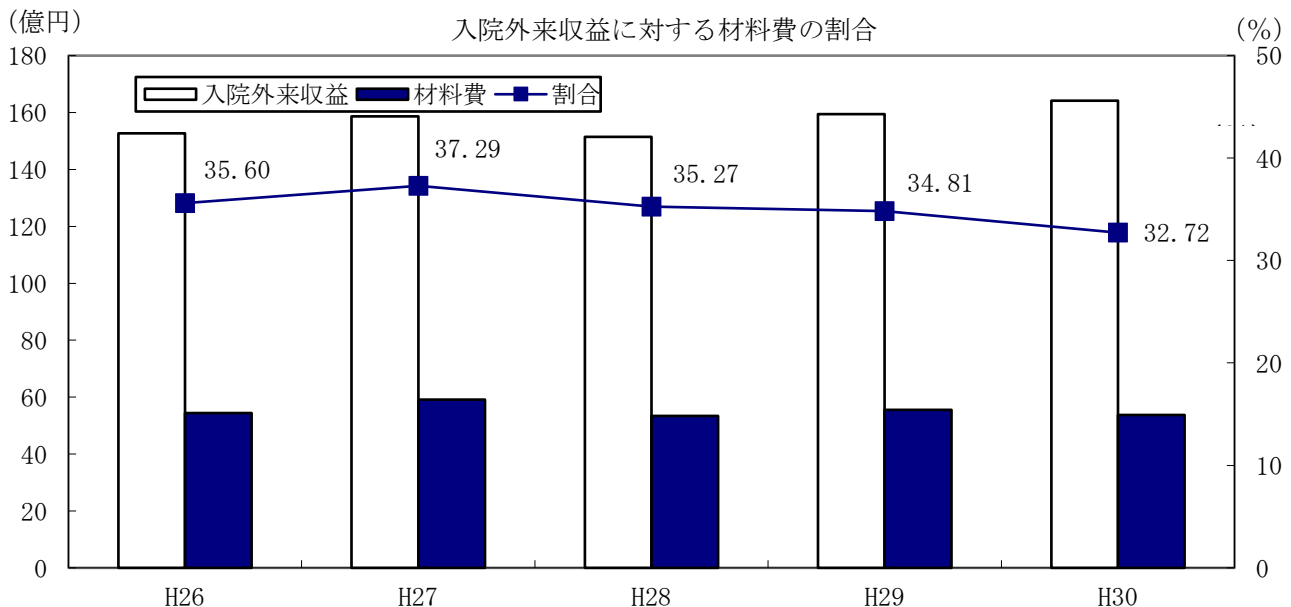
H29.3月末現在
78.7%



H30.3月末現在
82.1%



H31.3月末現在
83.7%



[単位：千円]

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H30-H29
入院収益	11,432,820	11,508,857	11,103,392	11,795,622	12,329,573	533,951
外来収益	3,831,964	4,359,117	4,043,552	4,152,098	4,083,936	△ 68,162
計 A	15,264,784	15,867,974	15,146,944	15,947,720	16,413,509	465,789
薬品費	3,468,636	3,940,406	3,314,283	3,482,519	3,288,569	△ 193,950
診療材料費	1,965,945	1,976,437	2,027,861	2,068,254	2,082,149	13,895
計 B	5,434,581	5,916,843	5,342,144	5,550,773	5,370,718	△ 180,055
B ÷ A × 100	35.60%	37.29%	35.27%	34.81%	32.72%	△ 2.09%

※消費税込みの額で算出しているため1ページの数値とは一致しません。

※参考：材料費（薬品費＋診療材料費＋医療用消耗備品費＋給食用材料費）÷ 医業収益（入院＋外来＋その他）

民間病院：27.5%（うち薬品費16.0%，その他11.5%。全国公私病院連盟による平成28年6月調査に基づく500床以上病院の平均値。）

市立函館病院：32.9%（うち薬品費19.7%，その他13.2%。医業収益に他会計負担金を含めず算出した平成30年度の数値。）

Ⅲ (新) 改革プラン収支計画との比較

1 収支計画と実績の比較

□ 資金過不足額

(単位：百万円)

区 分		H28	H29	H30	H31	H32	
函館病院	単年度	計画	△ 336	△ 1,670	△ 176	0	177
		実績	△ 336	△ 1,670	78	(予算 0)	
	累積	計画	△ 1,550	△ 3,220	△ 3,396	△ 3,396	△ 3,219
		実績	△ 1,550	△ 3,220	△ 3,142	(予算 △3,142)	
恵山病院	単年度	計画	380	△ 29	△ 20	0	0
		実績	380	△ 29	2	(予算 △51)	
	累積	計画	49	20	0	0	0
		実績	49	20	22	(予算 △29)	
南茅部病院	単年度	計画	484	△ 9	△ 27	0	0
		実績	484	△ 9	△ 6	(予算 △96)	
	累積	計画	36	27	0	0	0
		実績	36	27	21	(予算 △75)	
合計	単年度	計画	528	△ 1,708	△ 223	0	177
		実績	528	△ 1,708	74	(予算 △147)	
	累積	計画	△ 1,465	△ 3,173	△ 3,396	△ 3,396	△ 3,219
		実績	△ 1,465	△ 3,173	△ 3,099	(予算 △3,246)	

※ 計画は見直し後の数値

□ 資金不足比率

(単位：%)

区 分	H28	H29	H30	H31	H32
計 画	8.8	18.3	18.9	18.3	17.2
実績	8.8	18.3	17.3	(予算 17.5%)	

※ 給与見直しの効果額を含む

□ 一般会計繰入金

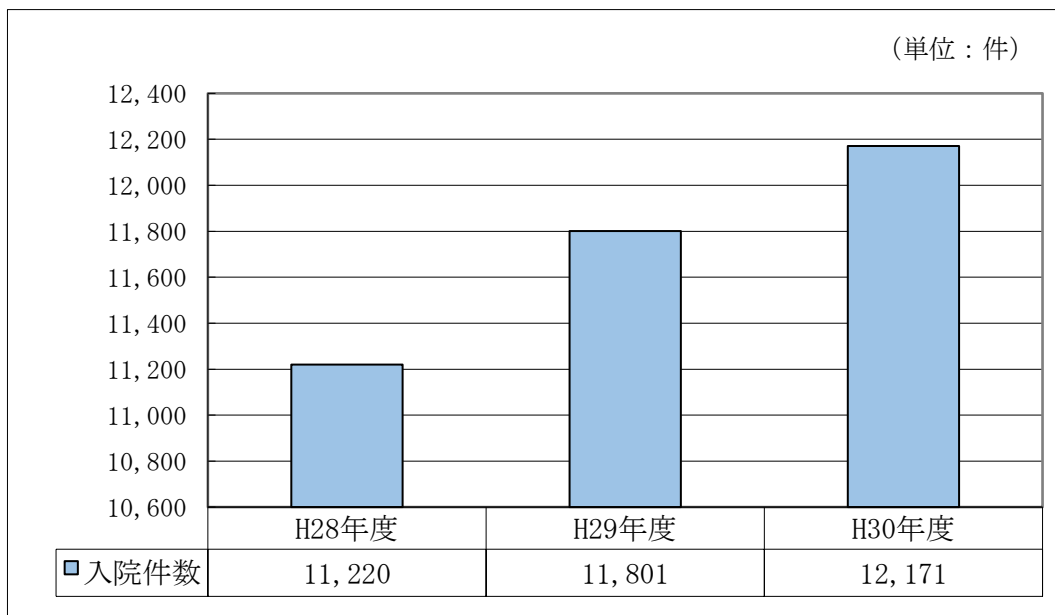
(単位：百万円)

区 分	H28	H29	H30	H31	H32
計 画	4,174	2,944	2,896	2,738	2,627
実績	4,174	2,944	2,895	(予算 2,591)	

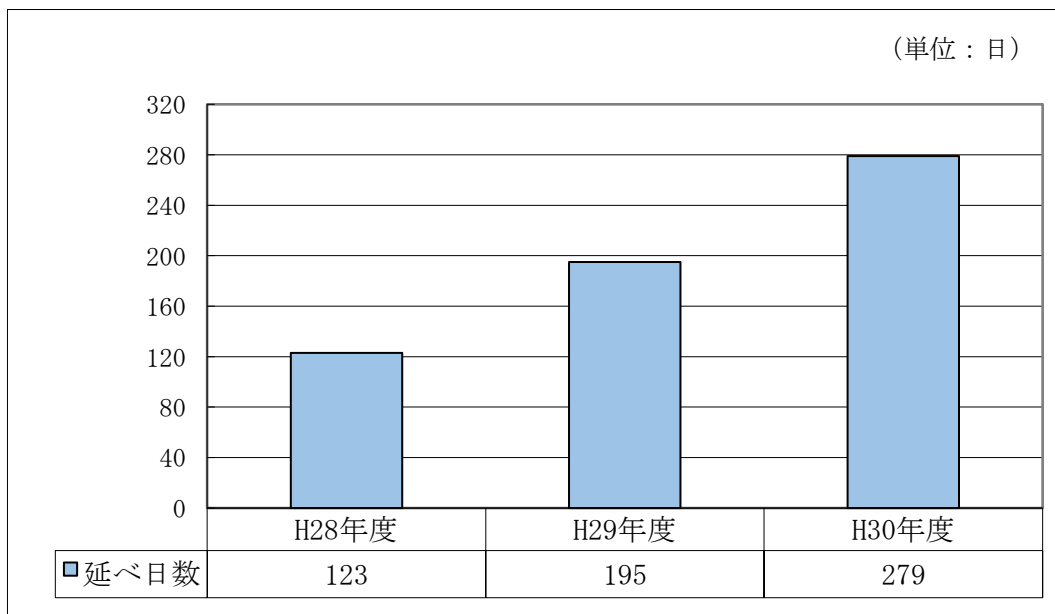
2 函館病院の経営効率化に向けた取り組みの実績

(1) 入院件数の増加

① 入院件数



② 地域診療応援（他病院への医師等の職員派遣）の状況



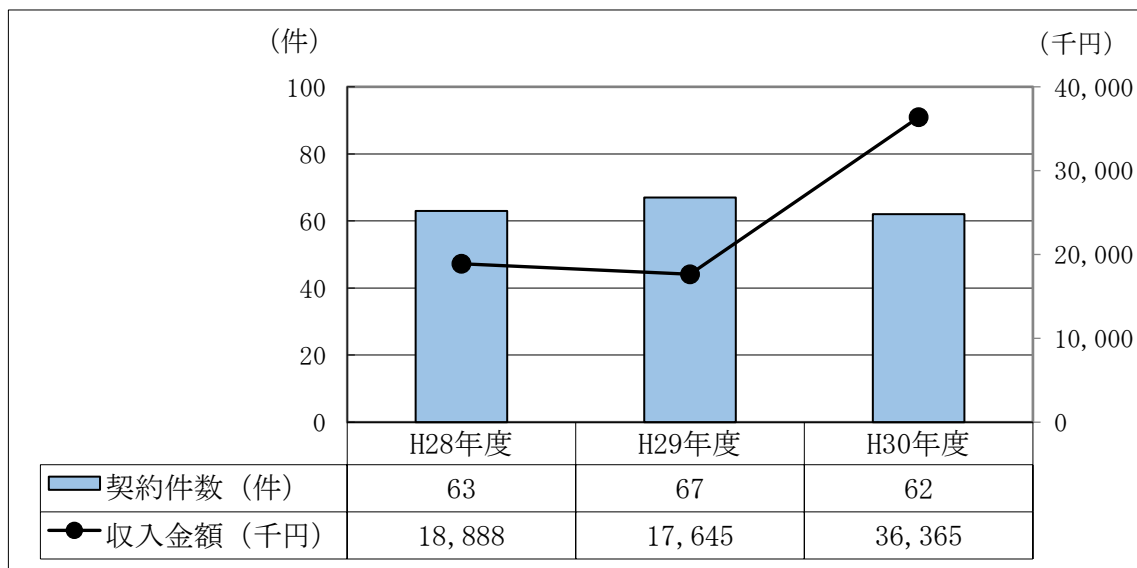
※派遣先病院：北海道立江差病院，木古内町国民健康保険病院，
森町国民健康保険病院，松前町立松前病院，奥尻町国民健康保険病院

(2) 平均在院日数の適正化

(単位：%)

区分	H28年度	H29年度	H30年度
I～II以内	51.8	53.9	53.8
上記以外	48.2	46.1	46.2

(3) 治験、製造販売後臨床試験への積極的な参加



(4) 材料比率の見直し

(単位：千円)

区 分	H28年度	H29年度	H30年度
入院外来収益 A	15,146,944	15,947,720	16,413,509
薬品診療材料費 B	5,342,144	5,550,773	5,370,718
B/A (%)	35.3	34.8	32.7

(5) 手術件数

